

女神大橋 (ヴィーナスウイング)



区 間：長崎県長崎市木鉢町～長崎市戸町
 延 長：1,289m(斜張橋部880m+取付高架橋部409m)
 橋梁形式：3径間連続鋼斜張橋
 主塔形状：H型(高さ170m)
 車 線 数：4車線十両側歩道
 照明設計：(株)トミタ・ライティングデザイン・オフィス
 施 工：三菱・佐世保・大島特定建設工事共同企業体
 開 通：平成17年12月11日

「鶴の港」として親しまれてきた長崎港の港口に架けられた斜張橋の「女神大橋」。夜間は投光器で全体を照らし、163台のLED照明を加えた可変の演出照明により、華やかな彩りで魅力的な夜の景観を創り出しています。

九州最長、国内では6番目を誇る斜張橋。魅力的な地域イメージを創出するランドマークを形成

長崎港をまたぎ、長崎市の西部と南部を結ぶ「女神大橋」(長さ1,289m)が11年の工期を経て平成17年12月11日に開通。長崎市内の慢性化した交通渋滞の緩和と長崎港の両岸に分散している港湾施設の連携強化・物流の効率化を図ることを目的としたもので、主塔からケーブルで橋げたを吊下げる斜張橋としては九州最長で、国内では6番目の長さを誇っています。

夜間には全体を照らし出す投光器によるライトアップが行われているほか、コンピュータ制御で色が変わる163台のLED照明(ルミライナーD)による魅力的な演出照明も実施されており、夜の港に幻想的で優美な姿が浮かび上がり、観光都市・長崎の新たなランドマークとして夜の景観を創出しています。

投光器照明を基本に、時間やイベントに対応したLED照明による演出で華やかだ賑わいを創出

橋梁のライトアップは、夜景の街・長崎の新たな風景を創出すると共に、「用の明かり」「美の明かり」「象徴の明かり」をキーワードに、橋梁の立地、形態の特長を捉え、市民が風景として末永く愛でることのできるライトスケープの形成を目的として計画されています。

170m高さの主塔の照射照明は高演色なメタルハライドランプ1kWを中心に2kW、700Wの投光器を主塔下部・主塔上部合わせて合計112台が、マルチファン形式2面吊ケーブル(13段数)の照射照明はメタルハライドランプ700Wおよび1kW投光器が合計60台設置されており、主塔の形状を際立たせながら、女神が広げた翼をイメージしたワイヤーロープにより両側の丘陵を結ぶ橋げたを強調しています。さらにLED照明が両欄干脇の袖部(海面上70m位置)の港内側に約15mピッチで、港外側に約23mピッチで合計163台設置され、時・季節の変化やイベントに合わせて様々な色・パターンで表現できる可変の演出照明を運用し、魅力的なライトスケープを創出しています。

照明計画においては、長崎港の内外を行き来する船舶に対する有害なグレアの抑制や、橋梁の両側に控えた丘陵の暗さを保ちつつ、海面へ無駄な光が及ばない適切な配光の工夫などにより環境負荷を少なくしていると共に、強風や塩害に耐え得る強固さを備えた器具設計および長寿命の器具を用い、十分なメンテナンス性が配慮されています。



イベントパターンA(シアン)：海の街「長崎」において海のイベント、記念日などに効果的なシアン(青色)系の光



イベントパターンB(ランダムカラー)：長崎の祭りの活気と賑わい感が感じられる色とりどりの光



水辺の森公園から見たライトアップ：通常点灯パターン



海面から70mの位置に設置された橋全体をライトアップする投光器とライトスケープを創り出すLED照明器具



合計163台設置されているLED照明器具



主塔下部をライトアップする投光器

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
主塔ライトアップ	投光器	特注	20	2kWメタルハライドランプ
		特注	68	1kWメタルハライドランプ
		特注	24	700Wメタルハライドランプ
ワイヤーロープライトアップ	投光器	特注	40	1kWメタルハライドラン
		特注	20	700Wメタルハライドランプ
演出照明	LED照明器具	特注	163	LED(ルミライナーD)